

新任教授紹介

胸部悪性腫瘍の地域診療と呼吸器内科専門医育成に挑む

地域胸部疾患治療学講座 教授 野上尚之

わたしは16年間四国がんセンターに勤務し、肺がん等の胸部悪性腫瘍の治療を専門に行ってきました。当院で私に与えられたミッションは、①肺がんについて診断から治療までを地域で完結するモデルを作る、②呼吸器内科医の少ない愛媛において呼吸器内科専門医を増やす、の2点です。患者さんは高齢の方が多いため通院にご家族のつき添いが必要で、負担も決して少なくありません。中予に来なくても各地域で診療ができれば本人と家族の通院等の負担が減り、より良い生活と治療の両立も叶います。関連病院の先生方と連携をとり、地域でがん診療を完結するモデルケース作りを今治市から始めました。将来は全県下で展開することが目標です。また、治療にあたってはその方が何を大切にされているかをヒアリングし、その方にあわせた治療のあり方を一緒になって考えています。最後に、呼吸器内科では今年度から新規抗がん剤の開発治験や共同研究をいくつか始めました。一緒に3～5年先のミライの治療法を築きませんか？これを機会に若い先生方が呼吸器内科に関心をもってもらえれば嬉しいです。



PROFILE

のがみなおゆき©1993年三重大学医学部卒業。2003年より四国がんセンターに勤務。日本内科学会指導医、日本呼吸器学会指導医、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法指導医等の資格を有し、2020年4月より現職。趣味は高校時代から続けているバドミントン。